

第1日目 3月29日 (金) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	シンポジウム S04 [公開] 地理学の社会的役割を考える 主催: 日本地理学会企画専門委員会 オーガナイザー: 今井 修(東京大)・貞広幸雄(東京大)・ 山室真澄(東京大)・村山祐司(筑波大)	<水文> 201 大八木英夫*(日本大)・濱田浩美(千葉大): 富士山周辺の湖沼における透明度の長期的変動
9:20		202 濱田浩美(千葉大)ほか: ネパール・テライ低地における地下水ヒ素汚染—乾季と雨季の水質変化
9:40	開始時刻 9:30	203 飯泉佳子(国際農研)ほか: ガーナ共和国白ボルタ川における氾濫原湿地を利用した天水稲作栽培—氾濫原湿地と稲作圃場の水質特性と形成機構に関する研究
10:00	S0401 9:30~9:45 今井 修(東京大): 地理学の社会的役割を考える—導入	204 森本洋一*(法政大・院)・小寺浩二(法政大): 魚野川流域における融雪期の水質形成と組成に関する研究—流域水収支・物質収支を考慮して
10:20	S0402 9:45~10:00 一ノ瀬俊明(国立環境研): 国の研究機関からみた地理学	205 沼尻治樹(日本測量協会): 常呂川流域を対象とする積雪・融雪モデルを備えた日単位流出モデルの構築
10:40	S0403 10:00~10:15 宇根 寛(国土地理院): 地理空間情報活用促進に関する国の施策と地理学の役割	206 濱 侃*(法政大・学)・小寺浩二(法政大): 島嶼の水質特性—伊豆諸島各島の比較から
11:00	S0404 10:15~10:30 石原 肇(東京都庁): 地方自治体からみた地理学	207 元木理寿*(常磐大)・荻原 豪(鹿児島大): 沖永良部島における湧水地の管理と湧水地を活用したESDの実践
11:20	S0405 10:30~10:45 古橋大地(東京大): 民間から見た地理学の役割	<気候> 208 加藤隆之*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大): 筑波山で観測された斜面温暖帯の出現高度の時系列変化
11:40	S0406 10:45~11:00 山室真澄(東京大): 義務教育における地理学の特徴と地理学が果たす社会的役割	209 中口毅博(芝浦工業大): 埼玉県におけるクールスポットの効果の地域的要因に関する研究
	S0407 11:00~11:15 石川 徹(東京大): 欧米における地理学の学問的位置づけと社会的認識	
	<コメント・ディスカッション> 11:15~12:00 コメンテータ: 伊藤夏生(国土交通省)	
	終了時刻 12:00	
12:00	昼 休 み	

第1日目 3月29日（金）午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
	<都市・交通>	
	401 ヨハネス・キーナー(大阪市立大・院):ホームレス自立支援センターの立地パターンと就労自立	9:00
	402 井上 学(平安女学院大)ほか:住民組織が運営する乗合バス事業の合意形成とサービスの変化—函館市陣川地区あさひ町会バスを事例として	9:20
	403 秋元菜摘(東京大・院):高齢社会における日常生活アクセシビリティの変化—富山市と青森市を事例として	9:40
	404 坪本裕之(首都大):都市内部構造の説明におけるエンドユーザーモデル構築の試み	10:00
	405 安倉良二(立命館大・非):大都市圏近郊都市の中心市街地における大型店の立地変化と商店街の衰退—大阪府八尾市を事例に	10:20
<観光>		
301 李 彬彬(久留米大・院):熊本県南小国町における農村女性グループによる農家民宿経営の展開	406 上村博昭(東京大・院):都道府県アンテナショップの立地と運営—東京都区部の事例	10:40
302 朝倉慎人(京都大・院):生活空間の観光化と住民実践—徳島県東祖谷地域における観光のまなざしの行方	407 根田克彦(奈良教育大):イギリス、ノッティンガム市インナーシティにおける小売商業地のエスニック店舗	11:00
303 福井一喜(筑波大・院):宿泊業者のインターネット利用による温泉観光地の構造変化—草津温泉を事例に	408 廣野聡子(淡江大・院):日本植民地期の台北における私鉄経営—台北鉄道を事例に	11:20
304 中山穂孝(駒澤大・院):国際温泉観光都市別府の言説の変遷	409 遠藤幸子(川村学園女子大):LeHavre-Hamburg Rangeのコンテナ港におけるグローバルターミナルオペレーターの動向	11:40
-----		12:00
<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> 昼 休 み </div>		

第1日目 3月29日 (金) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<地形・災害>	
9:00	501 澤柿教伸(北海道大)ほか:南極・ラングホブデ氷河における熱水掘削	
9:20	502 高橋伸幸(北海学園大)ほか:ボリビア, 低緯度高山帯における周氷河環境	
9:40	503 山縣耕太郎(上越教育大)ほか:ボリビアアンデス, チャルキニ峰西氷河前面における土壌発達過程	
10:00	504 水野一晴(京都大):ボリビアアンデスにおける植物分布に関わる氷河後退と高度	<歴史・文化>
		601 野上道男(会員):出雲国風土記と距離尺度換算率
10:20	505 奈良間千之(新潟大)ほか:中央アジア・天山山脈の氷河湖と氷河湖決壊洪水の特徴	602 遠藤 篤(駒澤大・院):埼玉県における仏教寺院分布の歴史の変遷
10:40	506 小松哲也*(北海道大・研)・渡辺梯二(北海道大):タジク・パミールにおける氷河災害とそれに関連したアセスメント研究のレビュー	603 塚本章宏*(立命館大・PD)ほか:古地図とモバイル端末を用いた地域学習支援アプリケーションの開発—近世後期の鳥取城下町を題材に
11:00	507 福井幸太郎(立山カルデラ砂防博):剣岳池ノ谷右俣の多年性雪溪の氷厚と流動—現存する氷河の可能性	604 阿部志朗(浜田高):近代における石見地方の窯業製品の流通圏と日本海海運
11:20	508 澤田結基(福山市立大)ほか:秋田県長走風穴における温風穴の再発見と地下水観測	605 網島 聖(京都大・院):近代の産業集積における共同体的関係と社会的制度の相互関係—1919-1940年の大阪における材木業同業者町を事例に
11:40	509 山田和芳(早稲田大)ほか:最終氷期最寒冷期以降の—の目潟における陸水環境の変化	606 浮谷安奈(法政大・院):戦前日本における北方探検の学術的・社会的評価の変容—間宮林蔵を中心として
12:00	-----	
	昼 休 み	

第1日目 3月29日 (金) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p><地域研究 (南米) ></p>		
701 山下亜紀郎*(筑波大)・丸山浩明(立教大):ブラジル・アマゾンの自然と生活(1)ーマウエスの自然条件と農業的土地利用		9:00
702 丸山浩明*(立教大)・山下亜紀郎(筑波大):ブラジル・アマゾンの自然と生活(2)ーファゼンダ・サンタ・セシリアにおける住民の生活様式		9:20
703 田瀬則雄(筑波大)ほか:ユーカリ林を組み込んだ土地利用連鎖系による持続的土地利用の実証と体系化 その2 水質特性		9:40
704 仁平尊明(北海道大)ほか:ユーカリ林を組み込んだ土地利用連鎖系による持続的土地利用の実証と体系化ーその3		10:00
<p><地域研究 (中央アジア) ></p>		
705 白坂 蕃(帝京大)ほか:中央アジア, キルギス南部およびタジキスタン北部における移牧		10:20
706 渡邊三津子*(奈良女子大)・中村知子(神奈川大):カザフスタン共和国アルマトゥ州パンフィロフ地区におけるソ連時代の農業開発とそれをささえた人の移動		10:40
<p><地域研究 (欧州・北米) ></p>		
707 荒又美陽(恵泉女学園大):フランス大都市内部における社会的混合と移民ーパリ, グット・ドール地区を例に		11:00
708 高橋昂輝(駒澤大・院):トロントにおけるポルトガル人街の出現とその変容		11:20
709 大石太郎(関西学院大):カナダ西部のフランス語系コミュニティーコンフリクトから観光資源へ		11:40

<p>昼 休 み</p>		<p>12:00</p>

第1日目 3月29日 (金) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	シンポジウム S08 [公開] 関東平野中央部の環境特性からみた 自然災害リスク	<気候> 210 日下博幸*(筑波大)・吉倉智美(筑波大・院):ヒートアイランド強度の風速依存性
13:20	主催:日本地理学会災害対応委員会 オーガナイザー:熊木洋太(専修大)・田村俊和(立正大)・ 田中 靖(駒澤大)	211 西 暁史*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大):一般座標系を採用した局地気象モデル開発
13:40	開始時刻 13:00	212 大久保さゆり(農研機構)ほか:アンサンブル予測実験結果と力学的ダウンスケールによるイネ葉いもち病2週間予測の試行
14:00	S0801 13:00~13:20 田村俊和(立正大):関東平野中央部の環境特性—自然災害リスクを考える基礎情報の共有	213 平田 航*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大):南岸低気圧接近時に関東平野で発生する冷気層—2009年3月6日事例
14:20	S0802 13:20~13:45 島津 弘(立正大):関東平野中央部,荒川,利根川の河川地形,河川災害と伝統的防災システム	214 桑門 遼*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大):百里基地周辺における霧の気候学的特徴
14:40	<コメント>13:45~13:55 熊木洋太(専修大):平野部で防災を考える際の地形情報の整備状況	215 久野勇太*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大):濃尾平野周辺における夏季降水に関する気候学的研究
15:00	<休憩> 13:55~14:05	216 一ノ瀬俊明(国立環境研):アジアの7大都市における都市の地下温度上昇
15:20	S0803 14:05~14:30 杉山雄一(産総研):関東平野北西縁断層帯の地表変位履歴と断層帯周辺の地盤災害・地震	217 青野靖之(大阪府立大):サクラの開花データを用いた江戸における春季気温の気候復元
15:40	S0804 14:30~14:55 熊原康博(群馬大):関東平野北部の活断層“太田断層”の認定と周辺の古地震・地盤災害との関係	218 三上岳彦(帝京大)ほか:江戸幕末期(1850-1860年代)における夏季の一時的高温化
16:00	<コメント>14:55~15:10 伊佐山 勉(熊谷市危機管理室):災害情報の共有	219 田宮兵衛:天気図型半旬集計による日本付近の年別季節区分の試み
16:20	<質疑・討論> 15:10~15:30 司会:熊木洋太(専修大)・田中 靖(駒澤大)	220 加藤内蔵進(岡山大)ほか:暖候期における日本付近の多降水日に注目した降水の季節サイクル(多彩な季節感を育む日本の気候環境の学際教育へのベースとして)
16:40	終了時刻 15:30	221 松山 洋(首都大)ほか:「まつぼり風」吹走地域で暮らす方たちはこの局地風をどう捉えているのか?—数量化 III 類を用いた分析
17:00		

第1日目 3月29日 (金) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>シンポジウム S03 [公開]</p> <p>地誌学と地誌教育(諸地域学習)</p> <p>オーガナイザー: 松井秀郎(立正大)</p> <p>開始時刻 13:00</p>	<p><都市・交通></p> <p>410 桐村 喬(立命館大・PD): 東京23区における平均世帯規模の縮小と世帯構成の変化—1965年～2010年</p>	13:00
<p>S0301 13:00～13:10 <趣旨説明></p> <p>松井秀郎(立正大)ほか: 地誌学と地誌教育(諸地域学習)</p>	<p>411 李 政宏(早稲田大・院): 台湾系留学生の移動選択について</p>	13:20
<p>司会: 松井秀郎(立正大)</p>	<p>412 北島晴美*(信州大)・太田節子(信州医療福祉専門学校): 都道府県別75～84歳, 85～94歳心疾患, 脳血管疾患死亡率の季節変化</p>	13:40
<p>13:10～13:40</p> <p>濱野 清(国立教育政策研): 新学習指導要領における地誌学習の位置付け</p>	<p>413 坪井壘太郎(日本大): 河川・親水公園の名称を冠する集合住宅の立地特性に関する研究—東京都江戸川区を事例として</p>	14:00
<p>13:40～14:10</p> <p>竹内淳彦(日本工業大・名誉): いま, 地誌を考える</p>	<p>414 澤岡知広(東京大・院): 東京大都市圏郊外における公団分譲団地建替え事業</p>	14:20
<p><休憩> 14:10～14:20</p>	<p>415 太田 慧(首都大・院): 東京臨海部における土地利用変化プロセスとそのドライビングフォース—東京都港区海岸地区を事例に</p>	14:40
<p>14:20～14:50</p> <p>田邊 裕(東京大・名誉): 私の受けた地誌教育から考える</p>	<p>416 山本晴奈(名古屋大・院): 名古屋市那古野地区における緑景観の形成</p>	15:00
<p>14:50～15:20</p> <p>吉開 潔(千葉県立柏高): 私の体験的地誌教育論</p>	<p>417 神田道男(立正大・院): 妙正寺川流域の住宅地の形成過程—住宅地景観の視点から</p>	15:20
<p><休憩> 15:20～15:30</p>	<p>418 橋田光太郎(北九州市立高等理容美容学校): 小倉城とその周辺地域の景観の系譜</p>	15:40
<p><総合討論> 15:30～16:10</p> <p style="text-align: right;">司会: 松井秀郎</p>	<p>419 嵩 大樹(法政大・院): 東京大都市圏周縁部における戸建住宅居住者の特性と通勤行動—千葉県木更津市の新興住宅地を事例として</p>	16:00
<p>コメンテータ</p> <p>16:10～16:20 竹内裕一(千葉大)</p> <p>16:20～16:30 戸所 隆(高崎経済大)</p>	<p>420 橋詰直道(駒澤大): 超郊外の別荘型住宅地における定住化と高齢化の進展—栃木県さくら市喜連川の温泉付住宅地の事例</p>	16:20
<p>終了時刻 16:30</p>		16:40
		17:00

第1日目 3月29日 (金) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<農業・農村>	<歴史・文化>
13:00	510 作野広和(島根大):島根県中山間地域における無住化集落(続報)	607 長谷川奨悟(神戸大・学振DC):場所認識としての「名所観」
13:20	511 伊藤千尋(横浜市立大・学振PD):滋賀県高島市朽木における行商の役割の変遷とその現代的意義	608 齋 実沙子(法政大・院):結婚式場の広告における「場所イメージ」の利用—結婚情報誌『ゼクシィ』を事例に
13:40	512 飯塚 遼(首都大・学振DC):イングランド・ダービーシャー・デールズにおける人口動態とルーラル・ジェントリフィケーション	609 益田理広(筑波大・院):人文地理学における空間概念のプラグマティズムの考察
14:00	513 永山いちい(筑波大・院):移住・適応過程からみた山村におけるIターン居住の存立形態—群馬県上野村を事例に	610 卯田卓也(筑波大・院)・松井圭介*(筑波大)ほか:入善町道市地区における浄土真宗の講組織の構造とその持続性
14:20	514 中川秀一(明治大):岐阜県飛騨市山之村地区における新規移住者と地域存続力	611 木村昌司(筑波大・院):長野県諏訪市における温泉共同浴場の存続基盤
14:40	515 星川真樹(東京大・院):ペルー首都近郊山岳農村における非伝統的作物導入と小農経営群の動態	<東日本大震災>
15:00	516 マコサ・ダン*(東京農業大・院)・高柳長直(東京農業大):An Insight into NERICA farming in Rural Uganda: A case of Najja Sub-county	612 近藤昭彦*(千葉大)ほか:空間線量率の空間分布から推定される放射性物質沈着時のブルームの動態
15:20	517 藤岡悠一郎*(近畿大)ほか:参加型農村開発に向けた在来農業の実態把握とフィードバック手法の検討—ナミビア農牧社会における稲作導入とGPSロガーによる労働分配調査	613 田中耕市(茨城大):東日本大震災・原発事故後に共有された福島県の空間情報の質的变化—Twitterおよびアンケート調査へのテキストマイニングから
15:40	518 則藤孝志(京都大・院):梅干しの価格形成システムをめぐる産地間の差異と相互関係	614 初澤敏生(福島大):福島県南相馬市原町区における震災後の産業の状況
16:00	519 岩橋 涼(京都大・院):有機農産物・特別栽培農産物の生産と流通—和歌山県の紀ノ川農業協同組合の取り組みを事例に	615 水野 勲*(お茶の水女子大)ほか:東日本大震災による福島県内100市町村間の連結構造の変容—鉄道・バス、自動車の最短バスのQ・分析
16:20	520 吉田国光(金沢大):農業生産とネットワークと空間—機械共有と堆肥調達, 出荷を取り上げて	616 関口直人(駒澤大・院):東日本大震災に伴う鉄道の復旧と利用者の利用状況及び交通行動—三陸鉄道を事例に
16:40		
17:00		

第1日目 3月29日（金）午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p><地域研究（中国）></p> <p>710 小島泰雄（京大）：大豆コウリヤンからトウモロコシへー中国長春フィールド調査報告（1）</p> <p>711 柴田陽一（京大・研）：小中学校の立地変化からみる中国農村地域ー中国長春フィールド調査報告（2）</p> <p>712 秋山元秀（滋賀大）：都市計画と都市景観の形成ー中国長春フィールド調査報告（3）</p> <p>713 小野寺 淳（横浜市立大）：中国におけるグローバル化の中の都市再編ー中国長春フィールド調査報告（4）</p> <p>714 柳井雅也（東北学院大）ほか：中国長春市における日系自動車企業の立地展開ー中国長春フィールド調査報告（5）</p> <p>715 高橋健太郎（駒澤大）：長春市における回族地域社会の持続と変容ー中国長春フィールド調査報告（6）</p> <p>716 石田 曜（京大・院）：南湖公園における「休閒」活動とその特性ー中国長春フィールド調査報告（7）</p> <p>717 周 雯婷（筑波大）：空間的形態からみた上海における日本人集住地域の形成過程ー古北エリアを事例として</p> <p>718 山下清海（筑波大）ほか：在日新華僑の出身地としてのハルビン市方正県の地域性（1）ー「中国北方僑郷」の形成</p> <p>719 張 貴民（愛媛大）ほか：在日新華僑の出身地としてのハルビン市方正県の地域性（2）ー農村部を事例として</p> <p>720 杜 国慶（立教大）ほか：在日新華僑の出身地としてのハルビン市方正県の地域性（3）ー僑郷の社会経済状況と日本語教育</p>	<p><経済・産業></p> <p>801 馬場隆幸（法政大・院）：財政運営から見るダム補償ー熊本県阿蘇郡小国町を事例に</p> <p>802 菅野 拓（大阪市立大・院）：高度成長期の企業の住宅政策の成立と展開</p> <p>803 及川裕子（お茶の水女子大・院）：都市空間とアートー「墨東まち見世」プロジェクトを事例に</p> <p>804 趙 政原（東京大・院）：文化産業の空間戦略と企業家行動ー台湾広告代理店2社の比較</p> <p>805 古川智史（東京大・学振DC）：地方中枢都市における広告産業の構造変容ー福岡市を事例として</p> <p>806 原 真志（香川大）：コンテンツプロジェクトにおける時限組織と企業による国際的空間分業の比較ーハリウッド映画のVFXを事例とした試論</p> <p>807 稲田康明（駒澤大・院）：JR御殿場線沿線地域の工業立地の変容ー交通環境の変化が与える影響</p> <p>808 鎌倉夏来（東京大・院）：研究開発機能の立地履歴と新空間分業ー日本の化学企業9社の事例</p> <p>809 野澤一博（科学技術政策研）：産学連携の地域間比較分析</p> <p>810 山下 潤（九州大）：特許データからみた環境産業の立地</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第2日目 3月30日 (土) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	地理教育公開講座 地理教育とESD 主催: 日本地理学会地理教育公開講座委員会 コーディネータ: 吉田 剛(宮城教育大)	シンポジウム S09 [公開] 大地の遺産を選ぶ 主催: 日本地理学会ジオパーク対応委員会 オーガナイザー: 岩田修二・目代邦康(自然保護助成基金)・菊地俊夫(首都大)・有馬貴之(首都大)
9:20	開始時刻 9:30	開始時刻 9:00 座長: 目代邦康(自然保護助成基金)
9:40	講 師 泉 貴久(専修大松戸高)	S0901 9:00~9:15 有馬貴之(首都大): 大地の遺産百選とその選定作業—アンケート調査(第1回)の結果を踏まえて
10:00	梅村松秀(ERIC国際理解教育センター) 福島義和(専修大)	S0902 9:15~9:35 長谷川直子(お茶の水女子大)ほか: 水の視点で捉えた大地の遺産選定とアウトプットの提案
10:20	池下 誠(練馬区立開進第一中)	S0903 9:35~9:55 青木賢人*・林 紀代美(金沢大): 水害と大地の遺産
10:40	終了時刻 12:00	S0904 9:55~10:15 飯田 肇*・福井幸太郎(立山カルデラ砂防博): 「大地の遺産」としての立山連峰 座長: 菊地俊夫(首都大)
11:00		S0905 10:20~10:40 清水長正*(駒澤大)・山本信雄: 風穴の利用をめぐる自然と文化の大地の遺産—信州稲核ほか
11:20		S0906 10:40~11:00 岡 秀一(専修大・非): 大地の遺産としての対馬の石屋根板倉
11:40		S0907 11:00~11:20 金田章裕(人間文化研究機構): 人の歴史が刻んだ大地の遺産—文化景観 <コメント> 11:20~11:25 新名阿津子(鳥取環境大) 座長: 岩田修二・有馬貴之・目代邦康・菊地俊夫 <総合討論> 11:25~12:00 終了時刻 12:00
12:00	昼 休 み	

第2日目 3月30日（土）午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
	<環境システム・地域環境>	
	421 朝日克彦(信州大):地球温暖化をめぐる「ヒマラヤの図式」	9:00
	422 東 善広(琵琶湖環境科学研究センター):琵琶湖湖南湖における水位変動による冠水分布の変化	9:20
	423 東城文柄*(総合地球環境学研究所)・市川智生(上海交通大):土着マラリアから見た1920-50年代の琵琶湖岸における土地改変の環境影響	9:40
	424 倉野健人(北海道大)ほか:網走川流域ガバナンス	10:00
<地域計画・地域政策>		
305 岡部遊志(東京大・学振DC):フランス首都圏地域における地域政策の新展開と政府間関係	425 鈴木一寛(早稲田大・院):釣りを活用した環境教育の可能性—うみんぐ大島の取組の事例考察	10:20
306 久井情在(東京大・院):県出先機関の再編に見る都道府県・市町村間関係の変化—山梨県を事例として	426 石原 肇(東京都庁):自動車環境管理計画書からみたCO2排出量について—東京都を事例として	10:40
307 上杉昌也*(東京大・学振DC)・浅見泰司(東京大):近隣居住者属性の推計と近隣満足度を与える影響に関する分析	427 安部真理子(日本自然保護協会):日本の海岸整備のあり方について	11:00
308 中村 努(東京大・研):長崎県における地域医療連携システムの普及メカニズム	428 辻村千尋(日本自然保護協会):自然保護とエネルギー開発—その歴史と展望	11:20
309 川久保篤志(東洋大):原子力発電所の立地と原発交付金による地域振興事業—島根県松江市を事例に	429 高崎章裕(大阪市立大・学振DC):沖縄県東村高江における座り込み運動の展開	11:40
-----		12:00
<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">昼 休 み</div>		

第2日目 3月30日 (土) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<地形・災害>	<東日本大震災>
9:00	521 田村俊和(立正大):外秩父山地中・北部の定高山稜と地すべりとの関係(予察)	617 青山雅史(日本地図センター):東北地方太平洋沖地震による宮城県北部における液状化発生地点の地形条件と土地履歴
9:20	522 荻谷愛彦(専修大)ほか:高天原岩石なだれー黒部川源流・水晶岳西面の大規模地すべり	618 松多信尚(名古屋大):2011年東北地方太平洋沖地震における海岸地形による津波高の特徴と明治三陸津波との比較
9:40	523 松四雄騎(京都大)ほか:岩石中の宇宙線生成核種を用いた大規模崩壊の発生年代の推定ー北アルプスにおける適用例	619 山田浩久(山形大):現地学習を中心にした災害復興学の実践
10:00	524 奥水健一(北海道立総合研究機構):山地斜面の崩壊地拡大の見積もりー北海道沙流川支流宿主別川流域の例から	620 熊谷圭知(お茶の水女子大)ほか:被災地でのフィールドワークに基づく大学実習の可能性と課題ー陸前高田市での震災体験の聞き取りを通じて
10:20	525 小林勇介(無所属)ほか:北海道における登山道侵食のパターンー12の山での「登山道侵食」地形学図の作成でわかったこと	621 村山良之(山形大)ほか:東日本大震災津波被災地の小学校における防災・復興教育の試みー石巻市立鹿妻小学校の実践事例
10:40	526 菊池輝海(筑波大):三宅島2000年噴火後の植生回復におけるリル地形の影響	622 菊池春子(お茶の水女子大・院):東日本大震災による医療・福祉機能の被災と住民生活の変容ー岩手県山田町の在宅療養患者世帯の実態調査から
11:00	527 小荒井 衛(国土地理院)ほか:魚野川・芋川流域のテフラについて	623 磯田 弦*(東北大)・庄子 元(東北大・院):南三陸町における商業の現状と意向ー被災地再建研究グループによる研究
11:20	528 菅 浩伸(岡山大)ほか:マルチビーム測深による精密海底地形データより判読した琉球列島久米島における海底地形面の分布と地形の特徴	624 庄子 元(東北大・院)ほか:気仙沼市仮設商店街における経営状況と本設の意向ー被災地再建研究グループによる研究
11:40	529 渡辺満久(東洋大)ほか:日本海東縁の海底活断層	625 岩動志乃夫(東北学院大):宮古市田老地区における仮設店舗の展開と課題ー被災地再建研究グループによる研究
12:00	-----	
	昼 休 み	

第2日目 3月30日 (土) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p><地域研究 (東南アジア) ></p> <p>721 遠藤 尚(高知大)ほか:2000年代前半のインドネシアにおける世帯支出水準別世帯の特徴</p> <p>722 西野貴裕(九州大・院):換金作物栽培の導入による土地利用変化と世帯の生計戦略—タイ東北部の山地村落を事例として</p> <p><地域研究 (南アジア) ></p> <p>723 荒木一視*(山口大)・R.S.チャンデー(KNPGカレッジ):インド・ウッタルプラデーシュ州における商品作物栽培—デダール村の事例</p> <p>724 梅田克樹(千葉大):インド・デリー首都圏における牛乳供給システム</p> <p>725 溝口常俊(名古屋大)・土屋 純*(宮城学院女子大)ほか:バングラデシュの農村地域における定期市の変貌—1986年調査(石原 1987, 石原・溝口 2006)との比較</p> <p>726 杉江あい(名古屋大・院):バングラデシュ・タンガイル県における「物乞い」と農村社会の福祉—ショーマージ間の比較研究</p> <p>727 渡辺和之(立命館大・非):ヤギとブタ, トライブや低カーブストはどちらを好むのか?—東ネパールにおける農民の家畜飼養と交易</p> <p>728 中村圭三(敬愛大)ほか:ネパール・テライ低地におけるヒ素汚染の実態とその対策に関する研究(2)</p> <p>729 松尾 宏(水土地域研究工房)・谷地 隆*(敬愛大)ほか:ネパール・テライ低地における農村集落の水利用に関する研究(2)</p>	<p>シンポジウム S07 [公開]</p> <p>参加型GISの現状と課題</p> <p>オーガナイザー:若林芳樹(首都大)・今井 修(東京大)・西村雄一郎(奈良女子大)</p> <p>開始時刻 9:00</p> <p>司会:西村雄一郎(奈良女子大)</p> <p>S0701 9:00~9:10 <趣旨説明>若林芳樹(首都大)</p> <p>9:10~9:30 今井 修(東京大):日本における参加型GISの展開</p> <p>S0702 9:30~9:50 山下 潤(九州大):海外における参加型GISの研究・実践動向</p> <p>S0703 9:50~10:10 大西宏治(富山大):地域安全マップ作成と参加型GIS—富山県高岡市横田小学校校区の事例</p> <p>司会:若林芳樹(首都大)</p> <p>S0704 10:10~10:30 岡本耕平*・前田洋介(名古屋大):防災分野における参加型GISの課題</p> <p>S0705 10:30~10:50 西村雄一郎(奈良女子大):カウンターマッピングと参加—東日本大震災後の事例から</p> <p>S0706 10:50~11:10 池口明子(横浜国立大):「参加型開発」批判とGIS—自然保護区の問題を中心に</p> <p>司会:今井 修(東京大)</p> <p><総合討論> 11:10~12:00 <コメント> 瀬戸寿一(立命館大)</p> <p>終了時刻 12:00</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 3月30日 (土) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	シンポジウム S01 [公開] 関東平野北西部猛暑の発生メカニズム	<植生> 222 真田佳居(元お茶の水女子大)ほか:ヒノキ人工林における隣接個体指数と成長指数の提案及びその考察
13:20	オーガナイザー:中川清隆(立正大) 開始時刻 13:00	223 阿部直美子(北海道大・院)ほか:モンゴル・カラマツ林におけるLight ringによる虫害履歴の復元
13:40	S0101 13:00~13:10 <趣旨説明> 中川清隆(立正大):関東平野北西部猛暑研究の動向と本シンポジウムの目的	224 田村賢哉*(奈良大・院)・海津正倫(奈良大):インドネシア・ムラビ火山の2010年噴火に伴う火砕流流下地域における植生の回復過程
14:00	Part I 観測事実やデータ解析に基づく話題提供 座長:渡来 靖(立正大)	225 安田正次*(千葉大)・大丸裕武(森林総合研):黒部川源流部における植生変化と温度環境の変化
14:20	S0102 13:10~13:35 重田祥範(立正大)ほか:関東平野北西部で発生する猛暑の形成機構解明を目指した広域気象観測網の構築	226 飯田義彦(京都大・院)ほか:山地斜面におけるヤマザクラ群落の開花日の差異—2011年開花時期の観察事例
14:40	S0103 13:35~14:00 菅原広史(防衛大):関東内陸における地表面熱収支	227 小川知美(名古屋大・学)ほか:石垣島宮良川河口部における中州上マングローブ林の植生動態
15:00	S0104 14:00~14:25 瀬戸芳一*(首都大・院)・高橋日出男(首都大):関東平野の海風風系と北関東における高温との関係	228 小川滋之(本部町立博物館):沖縄島本部半島における外来種セイロンベンケイ(<i>kalanchoe pinnata</i>)の分布特性
15:20	S0105 14:25~14:50 西森甚貴(農環研)ほか:気候および農業気象要素の長期変化の観点から見た近年の暑夏について	229 飯島慈裕(海洋研究開発機構)ほか:東シベリア・ヤクーツク周辺地域の永久凍土・森林荒廃の空間的特徴
15:40	Part II シミュレーション解析に基づく話題提供 座長:中川清隆(立正大)	230 吉田圭一郎(横浜国立大)ほか:山岳氷河の後退域における標高に影響を受けた植生発達
16:00	S0106 15:00~15:25 高根雄也*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大):関東平野内陸域で発生する猛暑とフェーンメカニズム	231 福地慶大(東京学芸大・院):浅間火山・鬼押し出溶岩上の植生分布とその規定要因
16:20	S0107 15:25~15:50 渡来 靖*(立正大)ほか:関東平野北西部の猛暑における地峡風の影響	
16:40	S0108 15:50~16:15 永戸久喜(気象庁):気象庁現業数値予報モデルによる夏季の関東地方北西部の最高気温予測特性	
17:00	Part III 総合討論 座長:中川清隆(立正大)	
	S0109 16:15~16:30 <総括コメント> 福岡義隆(立正大・名誉):本シンポジウムに対する総括としてのコメント	
	終了時刻 17:00	

第2日目 3月30日 (土) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
シンポジウム S06 [公開]	シンポジウム S02 [公開]	13:00
「地域文化」の生産・流通・消費 —文化地理学の視角から— オーガナイザー: 大城直樹 (神戸大)	変容する都市圏の住宅と居住の近未来像 オーガナイザー: 日野正輝 (東北大)・阿部和俊 (愛知教育大)・香川貴志 (京都教育大)	13:20
開始時刻 13:00	開始時刻 13:00	
S0601 13:00~13:15 <趣旨説明> 大城直樹 (神戸大): 「地域文化」の生産・流通・消費—文化地理学的視角から	13:00~13:10 <趣旨説明> 日野正輝 (東北大) 座長: 西原 純 (静岡大)	13:40
I 生産 座長: 荒山正彦 (関西学院大)	S0201 13:10~13:30 久保倫子 (明治大・学振PD): 東京大都市圏における住宅取得行動の変化	14:00
S0602 13:15~13:35 島津俊之 (和歌山大): 安政元年のハザードマップ—紀伊国広における地震津波被災記録の生産と災害文化	S0202 13:30~13:50 稲垣 稜 (奈良大): 大都市圏郊外における通勤流動について—生駒市を例に	14:20
S0603 13:35~13:55 遠城明雄 (九州大): 地域文化としての選挙	S0203 13:50~14:10 川口太郎 (明治大): 大都市圏における少産少死世代の居住地選択に関する予察的考察 座長: 藤井 正 (鳥取大)	14:40
S0604 13:55~14:15 加藤政洋 (立命館大): 「お座敷あそび」はどこでする?—遊興文化の制度化、あるいは文化ポリテクスとしての風俗営業取締	S0204 14:10~14:30 香川貴志 (京都教育大): 郊外ニュータウン周辺の住宅開発と郊内ニュータウン内部の住宅再開発—千里ニュータウンを事例として	15:00
II 流通 座長: 中島弘二 (金沢大)	S0205 14:30~14:50 由井義通 (広島大): 郊外住宅地における女性就業と子育て—広島市高陽ニュータウンの事例	15:20
S0605 14:15~14:35 関戸明子 (群馬大): 秋山郷における秘境イメージの形成と流通	S0206 14:50~15:10 千葉昭彦 (東北学院大): 東日本大震災の被災住宅団地の高齢化問題	15:40
S0606 14:35~14:55 荒山正彦 (関西学院大): 開道五十年記念北海道博覧会と地域文化	<休憩> 15:10~15:20 <コメント> 15:20~15:50	16:00
S0607 14:55~15:15 神田孝治 (和歌山大): 映像メディアによる観光地の新しい空間表象と現地の反応	戸所 隆 (高崎経済大)・阿部 隆 (日本女子大) 座長: 西原 純 (静岡大)・藤井 正 (鳥取大)	16:20
III 消費 座長: 加藤政洋 (立命館大)	<総合討論> 15:50~17:00	
S0608 15:15~15:35 福田珠己 (大阪府立大): 地域遺産としての景観—近代日本の景観概念・制度を中心に	終了時刻 17:00	16:20
S0609 15:35~15:55 濱田琢司 (南山大): 地域文化の新たな見せ方と消費—「デザイントラベル」と「土祭」を中心に	17:00	16:40
S0610 15:55~16:15 中島弘二 (金沢大): 基地と地域文化—名護市東海岸を事例として		17:00
<休憩> 16:15~16:25 <総合討論> 16:25~17:00 司会: 島津俊之 (和歌山大)・福田珠己 (大阪府立大)		
終了時刻 17:00		

第2日目 3月30日 (土) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<地形・災害>	
13:00	530 楮原京子(山口大)ほか:北上低地西縁断層帯の変動地形と浅部地下構造	シンポジウム S05 [公開] 東日本大震災における仮設住宅の 生活環境と住民の健康 —パーソナル・スケールでの実証的研究に基づく提言— オーガナイザー:岩船昌起(志学館大)・豊島正幸 (岩手県立大) 開始時刻: 13:00
13:20	531 鈴木毅彦(首都大)ほか:会津盆地西部における第四紀後期テフラと会津盆地西縁断層帯の活動	
13:40	532 河合貴之*(首都大・院)・鈴木毅彦(首都大):宮城県中部, 名取川流域における地形発達史	S0501 13:00~13:20 豊島正幸*(岩手県立大)・岩船昌起(志学館大):東日本大震災における仮設住宅の生活環境と住民の健康(趣旨説明)—パーソナル・スケールでの実証的研究に基づく提言
14:00	533 石井祐次*(名古屋大・学)・堀 和明(名古屋大):石狩川下流域氾濫原の堆積環境変化と泥炭層形成	S0502 13:20~13:45 葛 浩史(宮古市社会福祉協議会):宮古市仮設住宅への生活復興支援の経緯—宮古市社会福祉協議会の取り組み
14:20	534 羽佐田純大(名古屋大・院):濃尾平野におけるデルタの前進と堆積土砂量の変動	S0503 13:45~14:00 中村美香子(宮古市和美・西公園仮設団地自治会):宮古市の仮設住宅における住民活動の事例—36世帯規模の仮設団地自治会の取り組み
14:40	535 木庭元晴(関西大):侵食地形から得られた奈良盆地南部の低位段丘構成層の堆積面レベルの復元	S0504 14:00~14:25 高橋信人*(宮城大)・岩船昌起(志学館大):宮古市の仮設住宅室内における秋季および冬季の温湿度環境
15:00	536 石原武志*・須貝俊彦(東京大):荒川・妻沼低地と中川・渡良瀬低地の幅からみた地形発達の比較	S0505 14:25~14:45 白井祐浩(志学館大)ほか:仮設住宅住民の日常生活における身体活動—宮古市における身体活動量の実測とE-SAS調査より
15:20	537 町田尚久(立正大・研):荒川中流部の氾濫発地点の変化からみた河床変動	S0506 14:45~15:10 松本宏明(志学館大)ほか:宮古市の仮設住宅住民の心理的健康と個別的経験—地域コミュニティを中心とした心理的サポートの構築に向けて
15:40	538 松尾 宏(水土地域研究工房):明治43年利根川洪水と中条堤の考察	S0507 15:10~15:35 関根良平(東北大)ほか:岩手県宮古市における仮設住宅入居住民の生活行動空間
16:00	539 古田 昇(徳島文理大)ほか:瀬戸内海臨海低地の水災害と地形環境	S0508 15:35~16:10 岩船昌起(志学館大):岩手県宮古市における仮設住宅の生活環境と住民の健康—東日本大震災による被災地の再建にかかわる研究グループによる共同研究
16:20	540 加藤 徹(東京学芸大・院):新潟県中越地震後の山間集落の再建と地域づくりの役割	<総合討論> 16:15~16:50 <コメント>岩動志乃夫(東北学院大) 岩間信之(茨城キリスト教大)
16:40	541 浦部浩之(獨協大):2010年大地震で露わになったハイチの自然災害への脆弱性	<まとめ> 16:50~17:00 増田 聡(東北大):仮設住宅のあり方と政策的な提言
17:00		終了時刻 17:00

第2日目 3月30日 (土) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<地理教育>	<地図・GIS>	
730 田邊走美(横浜市立大・学):学校を拠点とした地域コミュニティにおける環境教育—滋賀県東近江市立能登川南小学校校区を事例に	811 宇都宮陽二郎(三重大・名誉):稲垣家旧蔵地球儀—予報	13:00
731 池 俊介*(早稲田大)・福元雄二郎(神奈川大附属中・高):高校地理教育における野外調査の実施状況と課題—神奈川県内の高校を事例として	812 佐藤 浩(国土地理院):測量技術者の資格制度見直しの提案	13:20
732 小林岳人(千葉県立立松戸国際高):高等学校地理教育におけるナビゲーションの学習—授業でのオリエンテーリング競技の実習	813 瀬戸寿一(立命館大):日本におけるOpenStreetMapを用いたボランティア地理情報の構築と参加	13:40
733 逸見優一(岡山県立倉敷天城高):環境変遷史と「高校地理」授業プラン	814 田中雅大(首都大・院):ボランティアな地理情報としての視覚障害者向け道案内文の協同作成	14:00
734 岩本廣美(奈良教育大):社会科地理的分野における台風の取り扱い	815 山田育穂*(東京大)・岡部篤行(青山学院大):MoranのI統計量を用いた空間自己相関の検定に関する一提案	14:20
735 岩田修二:高校地理教科書の造山帯の説明は誤り	816 鈴木克哉(横浜国立大・学)ほか:直線距離と道路距離との関係に関する実証的研究	14:40
736 阪上弘彬(広島大・院):地理教育におけるESD(持続発展教育)の国際的展開—国際地理学連合地理教育委員会,ドイツ地理の動向の分析	817 濱田博之(麻布中・高):市町村合併にともなう統計データ再集計ツールの開発	15:00
737 山口幸男(群馬大・名誉):地誌学習内容における地誌的一般化の方途	818 山本敏貴(筑波大・院):中心市街地における土地利用パターンとその規定要因—水戸市・前橋市を事例に	15:20
738 井原 淳(常滑市立鬼崎中):読解力に及ぼすシミュレーション教材の効果	819 蘇 磊(筑波大・院):中国・北京市における地方出身者の居住地選択—朝陽区の平房地区を事例として	15:40
739 大島英幹(慶應義塾大・非):高校でのGISの導入状況	820 石川 守(北海道大)ほか:境界永久凍土の分布モデリング	16:00
740 伊藤智章(静岡県立吉原高):タブレット端末を用いた「デジタル地図帳」システムの試作	821 Kay Thwe Hlaing*(三重大)ほか:Water Quality of the Ayeyarwady Delta, Myanmar using GIS-based Mapping and Analysis	16:20
		16:40
		17:00

第1・2日目 3月29・30日 (金・土)

第9会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月29日(金)10時～17時00分と3月30日(土)9時～15時に行われます。
発表者による説明は、3月29日(金)12時～12時30分もしくは3月30日(土)12時～12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P001	池谷和信(国立民族学博物館):日本のコモンズと地理学	P012	助重雄久*(富山国際大)・佐竹里菜(富山国際大・学):観光客の行動と目線を考慮した観光案内図の必要性
P002	飯田義彦(近畿大)ほか:滋賀県朽木におけるトチノキ巨木林をめぐる地域変容	P013	片柳 勉(立正大):歴史的防災施設を核としたまちづくりの展開
P003	手代木功基(総合地球環境学研)ほか:滋賀県高島市朽木地域の山地源流域におけるトチノキ巨木の分布特性	P014	塚本章宏(立命館大・PD):『京羽二重』にみる近世期京都の産業―「諸師諸芸・諸職名匠GISアトラス」の構築
P004	藤岡悠一郎(近畿大)・八塚春名(国立民族学博・学振PD):滋賀県高島市朽木のトチ餅生産を支える資源利用ネットワーク―トチノミ入手経路にみる山村間の多様な資源流通形態	P015	増山聖子(埼玉県立文書館):第三期利根川改修工事による河川台帳の調製
P005	市南文一*(岡山大):エンベル・エリディンチ・ディンチソイ(トリアキア大):Transition of Non-cultivated Arable Land in Japan	P016	佐々木 達(札幌学院大)ほか:改革開放以降の中国内蒙古における農業生産の地域的展開
P006	藤田和史(和歌山大):海南産地における家庭用品産業の展開と変容	P017	田中真由紀(東京農業大):アメリカ花卉における花壇苗生産の特徴
P007	伊藤慎悟(駒澤大・応用地理研):戸建住宅団地における居住者の高齢化と最近の状況―名古屋都市圏の事例	P018	王 廷卓(九州大・院):中国・海南島マングローブ地域における地域住民の生業転換
P008	花岡和聖(東北大):大阪市における近隣の一日の動態性と犯罪発生の時空間パターン	P019	小野智郁*(北海道大・院)・石川 守(北海道大):地域住民の生業戦略とコモンズ―モンゴル国トゥブ県アルタンブラグ郡の事例から
P009	山田真広(駒澤大・院):地方都市居住高齢者の購買行動の変遷とその要因―静岡県三島市を事例に	P020	渡辺和之(立命館大・非):チベット難民キャンプにおける絨毯産業の盛衰―東ネパール・ソルクンブー郡チャルサの事例
P010	杉本興運(首都大・学振DC):都市レクリエーション空間の観光ポテンシャル評価―関心点の密度推定時における重み得点の設計	P021	河本大地(神戸夙川学院大):スペイン・ピレネー山脈のソブラルベ・ジオパークにおける行政主導型マネジメントの成果と課題
P011	鈴木由季*(三重大・学)・春山成子(三重大):松阪旧城下町の町並み保存に向けた地域の活動	P022	遠藤海斗(早稲田大・院):香港ジオパークとその世界ジオパークにおける特色に関する地理的考察

第1・2日目 3月29・30日 (金・土)

第9会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月29日(金)10時～17時00分と3月30日(土)9時～15時に行われます。
発表者による説明は、3月29日(金)12時～12時30分もしくは3月30日(土)12時～12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P023	岡谷隆基(国土地理院)ほか:学校の地理教育における地図の利活用実態調査	P034	堀 和明(名古屋大)ほか:電柱の倒壊状況からみた津波被害
P024	佐藤崇徳(沼津工業高専):インターネット地図APIを用いた地図教材ウェブサイトの開発(第2報)	P035	阿子島 功(福島大):2011.3.11地震による福島県須賀川市の河岸段丘面上の地盤災害と中世城館の埋没濠遺構
P025	福岡義隆(立正大・名誉):熱中症気候論文にみる地域調査士の可能性と問題点	P036	田力正好(地震予知総合研究振興会)ほか:断層崖のマスマーブメント—東日本における事例
P026	河野 忠*(立正大)・鈴木康久(京都府庁):『都名所図会』を用いた京都市街地の古水環境の復元	P037	中埜貴元(国土地理院)ほか:全国の地震による地盤災害特性データの作成
P027	原 美登里*(立正大)・酒井拓研(立正大・院):沖縄県南城市におけるヒージャー・カーの水利用と水管理—船越・糸数・奥武・愛地地区を事例に	P038	鈴木比奈子(防災科学技術研)ほか:日本全国の自然災害事例の網羅的なデータベース化
P028	高野岳彦(東北学院大):漁業センサスによる三陸漁業の地域性分析—復興への基礎資料として	P039	荻谷愛彦(専修大)ほか:多摩川上流,三頭山北西面の大規模地すべり
P029	垂澤悠史*(三重大・院)・春山成子(三重大):東日本大震災における自主防災活動の実態—宮城県岩沼市,互理町,山元町を事例地として	P040	佐藤 剛(帝京平成大)ほか:飛騨山脈・八方尾根主稜線に分布する線状凹地の形成期
P030	田中耕市(茨城大)・駒木伸比古*(愛知大):マクロスケールにおける「津波からの避難のし易さ」の定量的評価—近接性に基づくエバキュエイタビリティ指標の検討	P041	西井稜子(筑波大)ほか:宇宙線生成核種を用いた重力性変形地形の発達モデルの構築
P031	森田匡俊(愛知工業大)ほか:大規模災害発生時の大学キャンパスにおける帰宅困難者数の推計	P042	高岡貞夫*(専修大)・F.J.スワンソン(米国農務省森林局):カスケード山脈の地すべり地に形成された草原・低木林の分布とそれらの野生生物の生息地として役割
P032	高木 享*・仲井康通(福島大):会津地方における2011年に発生した災害の影響と自治体の対応—会津坂下町・柳津町・三島町・金山町・昭和村・下郷町への聞き取り調査結果から	P043	佐々木夏来*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):八幡平火山大谷地湿原の形成過程と地すべり活動の関係
P033	寺崎寛章(福井大)ほか:津波後の阿武隈川周辺水田土壌における塩害状況	P044	中田 高(広島大)ほか:南海トラフ南方の銭洲断層系活断層と歴史地震

第1・2日目 3月29・30日 (金・土)

第9会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月29日(金)10時~17時00分と3月30日(土)9時~15時に行われます。
発表者による説明は、3月29日(金)12時~12時30分もしくは3月30日(土)12時~12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P045	Kay Thwe Hlaing*(三重大)ほか: Geomorphological Assessment on the River Channel Change along the Toe River, Myanmar	P056	田中 靖*(駒澤大)・井上 信(ダイヤコンサルタント):地形発達シミュレーションモデルによる海岸域における地形変化の再現
P046	熊原康博(群馬大):ブータンヒマラヤの活断層の分布と変位様式	P057	石黒聡士(国立環境研)ほか:航空機搭載型測深LiDARによる海底地形データを用いた浅海底被覆分類の試み(速報)
P047	大上隆史(中央大):三陸海岸北部における遷急点を持つ岩盤河川の河川流量と侵食速度	P058	山田 誠(奈良女子大)ほか:紀伊半島における河川の水質と表層環境との関連性
P048	高橋由佳矢*(立正大・院)・河野 忠(立正大):静岡県水窪町に不定期に出現する「池の平」池の出現機構の解明	P059	小林修悟*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):流域水文特性と水質の季節変化に関する研究—北海道尻別川流域を対象に
P049	平塚延幸(大宮工業高):谷川岳一の倉沢本谷の侵食地形	P060	東城文柄*(総合地球環境学研)・小林繁男(京大):多時期MODIS画像を用いた東南アジアの土地被覆・土地利用分布の評価
P050	黒木貴一(福岡教育大)ほか:大淀川水系の地形縦断曲線の特徴	P061	濱田浩美(千葉大)ほか:ネパール・テライ低地における雨季の地下水ヒ素汚染
P051	石川怜志*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):木津川下流域における天井川の発達過程	P062	谷口智雅(三重大)ほか:ネパール・テライ低地ナワルパラシにおける開放井戸と地下水利用
P052	Sayed, MARJU(三重大・院)ほか: Geomorphological land classification map of Shonai River (Kasugai city) and flood risk assessment using concept of landform	P063	浅田晴久(首都大・PD)ほか:高解像度地表水データでみるブラマプトラ川下流域の水文環境と稲作
P053	長谷川裕彦(山岳地理学研)ほか:ボリビアアンデス、チャルキニ峰西カールの地形	P064	齋藤 圭*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):キルギス東部の水環境に関する予察的研究—シルダリヤ上流域・イシククル湖を中心に
P054	後藤秀昭(広島大):空中写真測量による詳細DEMを用いた変位ベクトルの復元—人工改変前の上喜来地区(中央構造線活断層帯・父尾断層)における検討	P065	梶山貴弘*(日本大・院)・藁谷哲也(日本大):カラコラム山脈、フンザ川中・下流域に発達する氷河の末端変動—1990-2010年を対象に
P055	戸田真夏(青山学院大・非)ほか:ネパール・テライ低地、パラシ東方の地形—地形図と空中写真による研究	P066	宮岡邦任*(三重大)・吉田圭一郎(横浜国立大):ブラジル・アマゾンの自然と生活(3)—マウエスの一農場における土地利用と水文環境

第1・2日目 3月29・30日 (金・土)

第9会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月29日(金)10時～17時00分と3月30日(土)9時～15時に行われます。
発表者による説明は、3月29日(金)12時～12時30分もしくは3月30日(土)12時～12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P067	山橋いよ(北海道大・院)ほか:モンゴルの1m深地温分布とその環境要因一確率分布図の作成に向けて	P078	坂井大作(首都大)ほか:MRI-AGCM3.2Hを用いた8月の日本における極端高温時の気圧配置の将来変化
P068	水野一晴(京都大):南アルプスの「お花畑」における30年間の植生変化とシカ害	P079	鈴木智恵子(筑波大)ほか:中部日本における積雪の領域気候モデルと衛星画像データを用いた再現
P069	池田 敦(筑波大)ほか:富士山の永久凍土分布について	P080	重田祥範(立正大)ほか:埼玉県熊谷市で発生するヒートアイランドの時空間的特徴
P070	万 含帥(首都大)ほか:低pH森林土壌における一次鉱物の生物風化と土壌性状	P081	大橋和幸*(日本大・院)・森島 済(日本大):関東地方における光化学オキシダント濃度の時空間変動
P071	吉田真弥(鉱研工業)ほか:植物珪酸体含量からみたブナの生育と土壌性状との関係	P082	磯 望(西南学院大)ほか:2012年7月九州北部豪雨災害の特徴について
P072	菅沢雄大(明治大・院)ほか:南アルプス南部、赤石岳北西斜面の風衝砂礫地に分布するソリフラクションロープの堆積構造	P083	町田尚久(立正大・研):埼玉県内の資料から解釈した寛保2年洪水の古気象
P073	木村祐介(首都大・院):シカ糞と糞虫糞からの植物ケイ酸体の検出と観察	P084	財城真寿美(成蹊大)ほか:京城公使館における気象観測記録とその気象学史的な位置づけ
P074	渡邊真紀子(首都大)ほか:都市土壌調査に向けたCCDカメラによる土壌掘削孔の観察と色分析	P085	奥野 充(福岡大)ほか:クック諸島, ラロトンガ島カレカレ湿地の花粉分析
P075	茗荷 傑(首都大):禿寫地の炭素吸収ポテンシャルと土地機能に関する研究	P086	白石喜春(公益法人協会):23カ国における中間支援団体の支援活動とその成果
P076	江端信浩(早稲田大・院):水害防備林の持つ今日的意義—淀川水系木津川を中心事例に	P087	杜 国慶(立教大):日本における帰化人口の分布と変化
P077	松本秀明(東北学院大)ほか:仙台平野中北部における洪水土砂流入期に関する研究		